

【感染症一覧】

医師による登園許可書のいる病気

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後、3 日を経過してから
インフルエンザ	病状がある期間（発症前 2 4 時間から発症後 3 日程度までが最も感染力が強い。）	病状が始まった日から 5 日以内に症状がなくなった場合は、症状が始まった日から 7 日目まで又は解熱した後、3 日を経過するまで
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間位	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1 ~ 2 日前から痂皮形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺の腫脹が消失してから
結核		感染のおそれがなくなってから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱・充血症状が出現した数日間	主な症状が消え、2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血・目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を使用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用する。7 日間服用後は医師の指示に従う。）
腸管出血性大腸炎（O-157,O-26.0-111 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し 4 8 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの

医師の診断の結果、登園が許可されるもの

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶蓮菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 2 4 ~ 4 8 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ・ロタ・アデノウイルス等）	症状のある間と症状消失後 1 週間（量は減少していくが、数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普通の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に 1 ヶ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること

RS ウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮（かひ...かさぶたのこと）化してから
突発性発疹		解熱し、機嫌がよく全身状態が良いこと

（厚生労働省：保育所における感染症対策ガイドライン 平成 21 年 8 月 より）

この他の病気でも、登園に際しては、医師に確認していただくようお願い致します。

（登園してよいか？ 感染しないか？ 保育中配慮することがあるか？ 等）